

## 第2章 伴中央地区の現状と課題

### 1 伴中央地区の“強み”と問題点

まちづくり会議など、住民から出された意見を中心に、伴中央地区の“強み”と問題点を整理すると、次の主要な点をあげることができます。

今後、“強み”を活かし、問題点を解決・改善し、“おいしい点”を魅力にしていくような取組を、一歩一歩進めていくことが期待されます。

#### ○“強み”は？

- ・よく知られている宝（資源・魅力）
- ・（あまり）知られていない、潜在的な宝（資源、魅力）
- ・特徴的な機能、位置づけ、施設 など

#### 道路・交通

- アストラムライン、伴中央駅
- 高速4号線（トンネル）、都心と15分でつながる
- 伴中央駅からアクセスできる地域がほぼ平地で、高齢者にもやさしい
- 高速道路（できるとは思いもしなかった！）

#### 歴史・文化

- 権現さん、3つの神社
- 古代山陽道、その駅が存在（現在のアストラムライン伴中央駅付近）

#### 教育・スポーツ

- 伴小学校（歴史がある、敷地が広い…）
- 大学、外国の方が多くなった
- スポーツ施設がある

#### 生活環境・自然

- 山、川、田園、緑が多い
- ホテルのすむ川・水辺
- 静かな環境

#### 農業

- 田畑
- 消費地に近い（Aシティ、こころ、旧市街…）、生産地と消費地を兼ね備えた地域

#### 人口・コミュニティ

- 西風新都ができ、人口が増加
- 自然環境と合わせてコミュニティもよい

等々

#### ▲問題点、“おいしい”点は？

- ・現在、困っていること
- ・将来、（もっと）困ると思われること
- ・せっかくの“宝”が活かされていないこと
- ・身近な問題点
- ・広がりのある、地域で共通する問題点 など

#### 道路・交通

- ▲アストラムラインの終電が長楽寺まで→一定住条件の制約
  - ▲佐伯区方面へのアクセスが弱い
  - ▲道路・農道がせまい
  - ▲それほど広くない生活道路で通過交通が多い（抜け道になっている）
  - ▲農免道：交通量が多い、歩道・信号がない、今後更に交通量が増大する可能性→危険
- #### 生活環境（公園、上下水道、憩いの場、産廃…）
- ▲公園・広場が少ない、近くに公園がない
  - ▲子どもを育てやすい環境だが、核となる遊ばせる公園が少ない
  - ▲下水道が整備されていない区域が広がる
  - ▲上水道が繋がっていないところがある
  - ▲自然を活かした憩いの場が少ない（川沿いの遊歩道など）
  - ▲土砂埋め立て、産廃への不安
  - ▲大型車などによる騒音
- #### 土砂災害
- ▲土砂災害警戒区域などが多い
  - ▲土砂災害が起りやすい
- #### 農地、土地の有効利用
- ▲休耕田が多い ▲農地の活用が難しい
  - ▲道路がなく土地利用が難しい
- #### 人口・コミュニティ（集会所）
- ▲伴中央で専用の集会所がない→集会所の整備
  - ▲子ども・若者が少ない、少子高齢化 等々

## 2 伴中央地区の課題

伴中央地区のまちづくりに関わる主要な課題としては、前記の「伴中央地区の“強み”と問題点」を踏まえると、次の点を設定することができます。

また、これらへの対応方向・視点としては、『“強み”を活かす、問題点を解決する、“おいしい”点を“強み”にする』ことが基本になると考えます。

- 「安全・安心なまちづくり」に、いかに取り組むか
- 「便利で暮らしやすいまちづくり」に、いかに取り組むか
- 「子育てしやすく、だれもが生きいきと暮らせるまちづくり」に、いかに取り組むか
- 「水と緑と文化が息づくまちづくり」に、いかに取り組むか
- 「支え合いと住民力・地域力を高めるまちづくり」に、いかに取り組むか

加えて、伴中央地区は西風新都の一角、かつ中央部付近を占めており、こうした立地性や伴中央の資源などを活かし、西風新都の都市機能『住み、働き、学び、憩う、護(まも)る[防災]』（西風新都推進計画2013）のどの部分を、どのように担っていくかを検討する必要があります。